

東京大学公共政策大学院主催 損保ジャパン寄附講座
「リスクマネジメントと公共政策」
第2回公開フォーラム

東京の足下を考える—土壌と地盤のリスクマネジメント

「東京」が、生活あるいはビジネスの場として、都市としての魅力を高めていくためには、安心して生活し、働ける環境が不可欠です。

しかし、東京の災害リスクは世界主要都市のなかでもとりわけ高いといわれており、各地に土壌汚染や液状化、旧建築基準のままの住宅密集地の問題などがあります。

そしてその背景には、リスクの「客観的な大きさ」と「社会的関心と対応」が必ずしも一致していないために、過剰反応や過少反応が生じ、不動産という貴重な社会的資源が効率的に活用されていない面がみられます。

地震と土壌汚染、すなわち「足下のリスク」は、個人や企業、公的部門などを問わず、あらゆる主体にとって決して逃れることのできないリスクです。

そこで、この公開フォーラムでは、こうした東京の「足下のリスク」に向き合い、産・官・学それぞれの立場から、東京を魅力ある都市にしていくための仕組みづくりを考えてみたいと思います。

日時：2008年2月29日（金）

13：30～17：15 （12：30受付開始）

会場：東京大学本郷キャンパス内

「法第31番教室」（法文2号館）東京都文京区本郷7-3-1

☆東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線「本郷三丁目」駅より 徒歩 約10分

☆東京メトロ南北線 「東大前」駅 より 徒歩 約10分

定員：320名（申し込み先着順）

参加費：無料



【プログラム】

◆受付： 12:30～

◆開会： 13:30～

◆主催者挨拶： 金本良嗣（東京大学 公共政策大学院教授）（13:30～13:40）

◆基調講演

「地震リスクに対する都市の脆弱化と災害対策」（13:40～14:40）

目黒公郎（東京大学 生産技術研究所教授 都市基盤安全工学国際研究センター長）

東京は地震に対して非常に脆弱な構造になってしまっています。その原因としては、戦後の都市政策で、大量の人口流入を前提に山を削り谷を埋め、海岸部や湿地を埋め立てて、地震に弱い土地を大量に生み出してきたことや、粗製濫造で住宅の寿命が著しく短くなっていることが挙げられます。これからは、地盤のしっかりした土地に丈夫な住宅を建て、適切なメンテナンスを施して長く使っていくことが求められます。また、良質の住宅が流通する住宅市場や賃貸市場を整備することが欠かせません。そのためには、正確な地震リスク情報の開示とともに、都市空間を有効に活用していくための施策が必要です。

2007年10月から提供が開始された「緊急地震速報」は、わが国の地震科学の粋を集めた画期的なシステムですが、その反面、使い方を間違えると、実は極めて危険な性格もあわせ持っています。この基調講演では、このようにハードとソフトの両面から、「東京を災害に強い都市にしていけるにはどうしたら良いか」について考えていきたいと思います。

「土壌と地盤のリスクと不動産取引：東京都の事例」（14:40～15:25）

齊藤 誠（一橋大学大学院経済学研究科教授 東京大学公共政策大学院客員教授）

現在の東京都の土地利用実態を見ると、江戸時代からの様々な経緯を反映して、結果として地震リスクを無視した住宅開発や商業地の高層化が進んできたことは否めません。逆に、土壌汚染リスクについては過剰な反応の結果、土地の潜在的な価値が活かされないままに放置されるようなことが起きてしまっています。

なぜ、土壌や地盤に関わるリスクに対して、このような過小評価や過大評価が生じるのでしょうか。政府や東京都は、どのような形でリスク情報を提供し、規制枠組みを作っていけば、リスク評価の歪みを是正することができるのでしょうか。

本講演では、地震リスクや土壌汚染リスクが適切に地価や家賃に反映し、土地資源が有効に活用されるための政策的な環境づくりのために何をすべきなのかについて、具体的な事例に基づきながら考えていきたいと思います。

◆休憩（20分）

◆パネルディスカッション（15:45～17:15）

「土壌と地盤のリスクマネジメントと不動産の流動化促進」

パネリスト

西山圭太（経済産業省 経済産業政策局 産業構造課長）

佐竹洋一（国土交通省 総合政策局不動産課 不動産投資市場整備室長）

藤井良広（上智大学 大学院地球環境学研究科教授）

目黒公郎（東京大学 生産技術研究所教授 都市基盤安全工学国際研究センター長）

福永健二郎（株式会社フィールド・パートナーズ 代表取締役社長）

石井雅実（株式会社損害保険ジャパン 取締役常務執行役員）

コーディネーター

齊藤 誠（一橋大学大学院経済学研究科教授 東京大学公共政策大学院客員教授）

◆閉会： 17:15

【プロフィール】（順不同・敬称略）

目黒公郎（東京大学 生産技術研究所 教授 都市基盤安全工学国際研究センター長）

【略歴】1991年東京大学大学院修了，日本学術振興会特別研究員，東京大学助手，助教授を経て，2004年より教授。2006年からは東京工業大学特任教授を兼務。

【主な編著書】『被害から学ぶ地震工学，一現象を素直に見つめて－』（1992年，鹿島出版），『地震のことはなそう（絵本）』（2005年，自由国民社），『大地震 死んではいけない！』（2006年，旬報社），『東京直下大地震生き残り地図』（2006年，自由国民社），『ぼくの街に地震が来た（漫画）』（2006年，ポプラ社），『じんのえほん（絵本）』（2006年，ポプラ社），『緊急地震速報』（2007年，東京法令出版），『間違いだらけの地震対策』（2007年，旬報社）他。日刊工業新聞技術・科学文化図書賞（大賞），土木学会出版文化賞，地域安全学会論文賞，地盤工学会「土と基礎」年間優秀賞，土木学会国際活動奨励賞など受賞。

藤井良広（上智大学 大学院地球環境学研究科 教授）

【略歴】1972年大阪市立大学経済学部卒業，同年日本経済新聞社入社，1988年欧州総局ロンドン駐在記者，1993年英オックスフォード大客員研究員，2006年上智大学地球環境学研究科教授，日本経済センター客員研究員などを兼務。

【主な著書】『金融NPO』（2007年，岩波新書），『金融で解く地球環境』（2005年，岩波書店），『縛られた金融政策』（2004年，日本経済新聞社）など多数。

西山圭太（経済産業省 経済産業政策局 産業構造課長）

【略歴】1985年東京大学法学部卒業，通産省入省，1990年オックスフォード大学(PPE)，資源エネルギー庁，産業基盤整備基金，通商政策局米州課，経済産業省大臣官房秘書課人事企画官，内閣府産業再生機構準備室企画官，通商政策局情報調査課長，同アジア大洋州課長などを経て，2007年7月より現職。

佐竹洋一（国土交通省 総合政策局 不動産業課 不動産投資市場整備室長）

【略歴】1985年東京大学法学部卒業，1985年建設省入省，2005年国土交通省総合政策局政策課政策調査官，2006年国土交通省総合政策局不動産業課不動産投資市場整備室長。

福永健二郎（株式会社フィールド・パートナーズ 代表取締役社長）

【略歴】1989年栗田工業株式会社入社，2001年ランドソリューション株式会社の設立と同時に同社開発部長，2007年12月株式会社フィールド・パートナーズ設立し同社の代表取締役社長に就任。H19年度 国土交通省「土壌汚染地における土地の有効活用に関する研究会」委員，H19年度 経済産業省「土壌汚染を巡る企業の対策・対応の在り方検討会」委員，H19年度 東京都「土壌汚染対策専門委員会」委員。

石井雅実（株式会社損害保険ジャパン 取締役常務執行役員）

【略歴】1976年東京大学経済学部卒業，同年安田火災海上保険株式会社（現株式会社損害保険ジャパン）入社，国際業務部・業務課長，火災新種業務部・火災保険課長，企画開発部長などを経て，2007年6月より現職。

金本良嗣（東京大学 公共政策大学院教授）

【略歴】1972年東京大学経済学部卒業。コーネル大学大学院地域科学専攻 Ph.D.，ブリティッシュ・コロンビア大学経済学部助教授，筑波大学社会工学系助教授，クィーンズ大学経済学部訪問準教授，東京大学経済学部助教授，同教授を経て，1996年より東京大学大学院経済学研究科教授，2004年より現職。日本交通学会理事，日本不動産学会理事，日本経済学会常任理事，応用地域学会会長などを歴任。

【主な著書】『政策評価ミクロモデル』（2006年，東洋経済新報社），『日本の建設産業』（1999年，日本経済新聞出版社），『都市経済学』（1997年，東洋経済新報社），『講座・公的規制と産業・交通』（1995年，NTT出版），『Theories of Urban Externalities』（1980年，North-Holland）

齊藤 誠（一橋大学大学院経済学研究科教授 東京大学公共政策大学院客員教授）

【略歴】1983年京都大学経済学部卒業，1983年住友信託銀行入社，1992年マサチューセッツ工科大学経済学博士号取得，ブリティッシュ・コロンビア大学経済学部助教授などを経て2001年より一橋大学大学院経済学研究科教授。2006年より東京大学公共政策大学院客員教授を兼務。

【主な著書】『資産価格とマクロ経済』（2007年，日本経済新聞出版社），『成長信仰の桎梏』（2006年，勁草書房），『新しいマクロ経済学 新版』（2006年，有斐閣），『金融技術の考え方・使い方』（2000年，有斐閣），日経・経済図書文化賞（2001年），日本経済学会石川賞（2007年）受賞。

損保ジャパン寄附講座「リスクマネジメントと公共政策」について：

この寄附講座は、東京大学と損害保険ジャパングループによる産学連携事業として、2006年10月から3年間の予定で、東京大学公共政策大学院にて開講しているものです。

2008年2月29日（金） 東京大学公共政策大学院主催
損保ジャパン寄附講座「リスクマネジメントと公共政策」第2回公開フォーラム
「東京の足下を考える―土壌と地盤のリスクマネジメント」

参加申込書

法人名・学校名等	
所属・役職・学年等	
ご出席者名	フリガナ
連絡先住所	
TEL	
FAX	
eメールアドレス	

① FAXによるお申し込みの場合：上記にご記入のうえ、

東京大学 公共政策大学院 リスクマネジメント研究室

FAX：03-5841-7880 までお送りください。

折り返し、FAXにて受講票をご送付いたします。

② eメールによるお申し込みの場合

東京大学 公共政策大学院 リスクマネジメント研究室

rmforum229@pp.u-tokyo.ac.jp まで

上表と同じ内容を記載のうえ、eメールでご連絡ください。

折り返し、eメールにて受講票をご送付いたします。

申込締切日：2月22日（金）

ただし、定員となり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

個人情報の取扱いに関する事項 <お申込みにあたって>

当研究室は、本申込書に記載いただく個人情報を、下記の目的以外に利用することはありません。

①本フォーラムの参加者登録に使用します。

②本フォーラムの講師・パネリストに、参加者情報を提供する場合があります。

③次回フォーラムのご案内のために利用させていただく場合があります。

上記の取扱いに対するご承諾を、本申込書の受領をもって確認させていただきます。

